



東園寺のお盆法要



八月八日 終日

お墓掃除

・きれいなお墓でお盆を迎えましょう！

八月十二日 午後六時

施餓鬼法要（精霊迎え法要）

・餓鬼の苦しみを救ってくださる七如来を開眼し、お盆の幕開けとします。

・法要後に七如来名号（精霊札）を授与します。お布施は十三日以降に納めて下さい。

八月十三日 終日

七如来名号（精霊札）授与

・七如来名号（精霊札）を授与します。

・喪中の家以外は赤の熨斗袋に布施と書いて納めて頂ければ結構かと存じます。

八月十四日 午前十時

新亡供養

・新亡の方には別途ご案内申し上げます。

八月十五日 午前十一時三〇分

平和祈願戦没者供養法要

・寺内の法要ですが、ご自由に参拝して頂



いて結構です。

八月十六日 午後六時

盂蘭盆会総供養（精霊送り法要）

・お盆の各自宅にお持ち頂いた七如来名号の総供養です。

・お返し頂いた方すべての家名を住職が唱え供養します。

・七如来名号は必ず十六日午後六時までに返却して下さい。もし返却出来なかった場合は自宅で焼いて頂くか、後日寺に納めて下さい。

盂蘭盆会供養塔婆 一体七〇〇円

八月三日より受け付けます。※P3参照

ご自分の墓地はもちろん、他家の墓地にお参りした際の供養のしるしになります。

八月三〇日 午前十時

地藏流し法要

海にお地藏様の札を流し、先祖の供養をするものです。新盆の方は是非参加して下さい。



東園寺の施餓鬼棚



間魔大王微笑図

8月16日と1月16日は冥界の休日。
間魔様もにこやか



「お盆にお供物を
供えるからおぼん？」
あら！
うちは蓮の葉よ！」の巻

逆さに吊されたような苦しみ

お盆はウランバナというサンスクリット語（古代インドの哲学語）の音写である。盂蘭盆の盂蘭を略した言葉です。ウランバナという言葉は元来「逆さに吊るされたような苦しみ」を意味する言葉です。

昔々インドのある村に熱心に修行に励む若者がいました。真面目に修行に取り組んでいるというと聞こえがよいのですが、若者は家業にたずさわる事もなく、結婚すらする気がありません。若者の両親は家門の将来を憂えてためいきばかりの毎日です。そんな時若者は、両親の心配をよそに、家の近くにあったのは厳しい修行が出来ないと、遊行の旅へと出かけてしまいました。様々な山や村を遍歴した若者はある森の洞窟に行き着きました。その洞窟を一夜の宿としようとしたときのことです。なんと暗闇の中からうめき声が聞こえるではありませんか！「ああ苦しい！助けてくれ！」若者は驚きたいまつで声のするほうを照らして見るとなんと洞窟には沢山の人が逆さに吊るされているではありませんか！「どうしたんだ！」勇敢な若者は明かりを近づけ一人の男に尋ねます。すると「お前のせいだ！お前が家業も継がず、結婚もせず、親も粗末にしているから我々先祖がこんな報いを受けているのだ！おいお前しっかりしろ！」若者は驚き吊るされている人々の顔を見るとなんとみんな自分そっくり！若者はおそれおの

いて家に帰り、両親に非を詫言家業を継いだそうです。
我々も先祖に盂蘭盆の苦しみ与えぬようしっかり精進致しましょう。

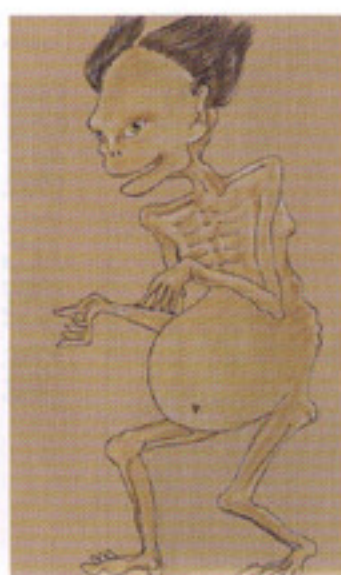
目連さん

さて上記はインドの伝説に登場する盂蘭盆の語源ですが、仏教的にはお釈迦様の高弟目連さんが餓鬼道に落ちた母親を救う為に、七月十五日に僧侶に対して供養したのがお盆の法要に発展したと信じられています。餓鬼道とは六道（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天）の六つの世界のひとつで、食に対する苦しみ（大い）の世界とされています。六道絵図などにはお腹が異常に膨らみ喉が針のように細い姿で餓鬼界の住人は描かれています。これは欲望が大きいけれども中々食物が喉を通らないことを象徴的に表現しています。餓鬼道では食物を食べようとするとそれが炎に変わり、あわてて水を口にするお釈迦様の弟子中随一の神通力をもった目連さんでもどうすることも出来なかったと伝えられます。お釈迦様は目連さんの母が家族以外の他のものに非常に冷淡であったことを指摘し、目連さんに母に代わって他に布施をすることを勧めます。また、ちょうど七月十五日は雨安居（雨季の三ヶ月は一箇所に定住し集中して坐禅などの修行に打ち込むこと）が終わり、僧侶たちはそれぞれに清らかな境涯にあるから、この僧侶を

供養すれば功德もひとしおであろうと説きます。目連さんはお釈迦様の教えにしたがった僧侶たちを供養すると見事に母親は救われたのだそうです。

施餓鬼

お盆という行事はときに施餓鬼法要と混同されることがあります。施餓鬼の起こりは、お釈迦様の付き人として有名な阿難さんという弟子の逸話に基づきます。阿難さんがあるときカピラ城の郊外で法要を説いた晩のこと、阿難尊者の前に、口の中は燃え盛り首は針先の如く細い、それは醜い餓鬼が現れ、阿難にむかってこう告げました。「お前は3日の後に死ぬであろう。お前は死んだ後、この俺のように醜い餓鬼に生まれ変わるのだ。もしそれが否ならば無限の数の餓鬼や閻魔大王に食事を施し、俺にお釈迦様の教えを説いたなら、お前は救われるだろう。さもなければ……」阿難は次の朝早速お釈迦様に相談したところ、ある呪文を読みながら餓鬼や閻魔大王に食事を施せば一食分の食事であちまちに無限の数の施しとすることが出来るであろう



餓鬼の姿

と勧めたのです。この呪文とは「ナムサボトトギヤトボリヨキチエンサンモラサンモラキン」という開甘露門というお経で読まれる一節であります。このように施餓鬼とお盆は元来起源が異なるものですが、餓鬼に対する供養というものが主題となっているのか、今日の臨済宗の盂蘭盆会はこの施餓鬼法要をもつて行われています。

自分のご先祖だけでは……

以上はお盆という名称の語源を説明したものです。日本のお盆はご先祖が私たちの世界に帰ってくるという点に主眼がおかれますから、名前こそ仏教やインド文化に由来するものの、やはり日本独自の祖霊信仰に基づくものであるとも言えそうです。

しかし、お盆でお勤めする開甘露門というお経やこれに基づくお盆のお飾りに接すると、お盆の行事が、大方の日本人が意識せずとも、餓鬼に米や山海の恵みを供えこれらの苦しみを救うという行事そのものであると思います。

また大切なのはご先祖様に備えるというよりも、ご先祖に成り代わり餓鬼幽霊に供養するという概念でありましょう。自分の先祖だけに供え物をしてその冥福を祈るだけならば、まさに目連さんの母と同じ過ちを犯すこととなるからです。

七如来名号について

東園寺では精道和尚が住職に就任した昭和四

十二年以来棚経とよばれるお盆法要は実施していません。當山では八月十二日の晩に施餓鬼の法要を営みご先祖様を供養し、餓鬼幽霊を救う仏とされる七如来の名号を開眼いたします。一昨年までは、十三日の早朝よりこの名号を授与しておりましたが、一日でも早くこれを自宅に安置したいとの声を頂戴し、昨年より十二日の法要の直後よりこれを授与致しております。また施餓鬼のつれ節は非常に珍しい節のお経ですので、是非十二日午後六時の施餓鬼法要（精霊迎え）にもご参加下さい。



七如来名号
(精霊札)

盂蘭盆会供養塔婆

盂蘭盆会供養のミニ塔婆です。施主名を入れられますので他家の墓地の参拝に便利です。

花竹に生花ですと一週間もせずに花は枯れ、水は腐ります。お盆の後の掃除もまめになさるご家庭であれば問題ありませんが、ほとんどのご家庭が「寺まかせ」の状態です。腐って悪臭を放つ生花を山頂から運ぶ作業は大変です。花竹はこの盂蘭盆供養の塔婆で代用して頂きますよう懇願申し上げます。

盂蘭盆供養 施上

一園禪尼葬儀



大聖寺和尚 起雲軒老大師 微笑庵和尚



一園禪尼(俗名 千坂のぶ)

去る六月七日、九十九歳の天寿を全うして逝去した先々住秀峰和尚寺院一園禪尼の葬儀を、瑞巖寺起雲軒老大師導師のもと六月十三日に厳修させて頂きました。また当日は精道和尚の遺志により、叔父京都微笑庵千坂秀学師と、同じく叔父沼津大聖寺住職上村貞嘉師に脇導師を務めて頂きました。葬儀は九十九歳の長命の故人に相応しく、清泉古流家元西村一観先生の献花や二華会代表村井あき子様、友人代表蟻坂はな様の弔辞などにより悲しい中にも和やかな雰囲気の中で祖母を送ることが出来ました。また先住精道和尚の遺命を活かし、葬儀を厳修出来ましたことは、東園寺の法燈を護持するものとして何にも換えがたいことでありました。天麟院様始め法類寺院方々、責任役員、総代、世話人、青松会の各位には温かいご協力を頂き感謝に絶えません。末筆となりましたが、ご多用中まげて導師をして頂いた起雲軒老大師を始め各山の御尊宿、ご会葬者ご同様に心より御礼申し上げます。

東園寺 住職 千坂成也 合掌



友人代表 蟻坂はな様



献花 清泉古流家元 西村一観先生



通夜導師 天麟和尚



ハワイ花祭り加担者

青空に響く太鼓の音



行事報告



花祭りウルトラクイズ優勝決定!!



ハワイ花祭りビンゴゲーム



4月8日 花祭りの夕 講師羽賀浩規師



6月20日 青山忌

華翁文庫



瑞巖寺百二十九世素雲軒老師の蔵書——華翁文庫の整理がやっと一段落つききました。大體の整理がつくと、禪を始めとする諸宗及び仏敎の書物が多いのは勿論、美術書や中国文学関係の書物が豊富であることが分かりました。また老師が宗教家として看過出来なかつた差別問題に関する文献も非常に豊富です。しばらくの間ブレイク期間として月土の午後二時～四時の間公開いたします。お近くにおいでの際は是非お立ち寄りください。

寺庫紹介

「專精進仏道」

山田無文老師

この書は妙心寺第二十六代管長山田無文老師に先住精進和尚が妙心寺派花園会本部長を任期満了にて退任する際に記念に頂いたものである。「専ら仏道に精進す」と読める。お気づきの向きもあるうが、先住の名前を入れた言葉である。四年の任期を全うし国内での活動はもとより、タイ国難民キャンプ、アメリカロスアンゼルス禪センター、インド等で老師のお供をさせて頂いた精進和尚に対する何よりの餞の言葉であらう。

專精進佛道

無文老師墨蹟

東園寺ホームページ

リニューアル!!

青年部研修旅行



清見寺様にて



松隠寺様にて自隠禅師の墓参

お世話になったお寺
清見寺様 松隠寺様 梅蔭寺様
寶泰寺様 鉄舟寺様 大聖寺様

宗教法人 東園寺 〒985-0026 塩釜市旭町4-1

学校法人 東園寺学園 〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51

代表役員 千坂成也 理事長 千坂秀也 花園会・会長 阿部久壽

022(362)0777 寺務所
022(362)8651 中央幼稚園
022(365)5616 第二中央幼稚園
022(364)4444 FAX
022(356)2933 ザ・ゼンクラブ